

ロンドン、2017年6月15日

ドイツ・エデルシュタールヴェルケ社に納入した 鋳造用ロボットシステムが稼働開始

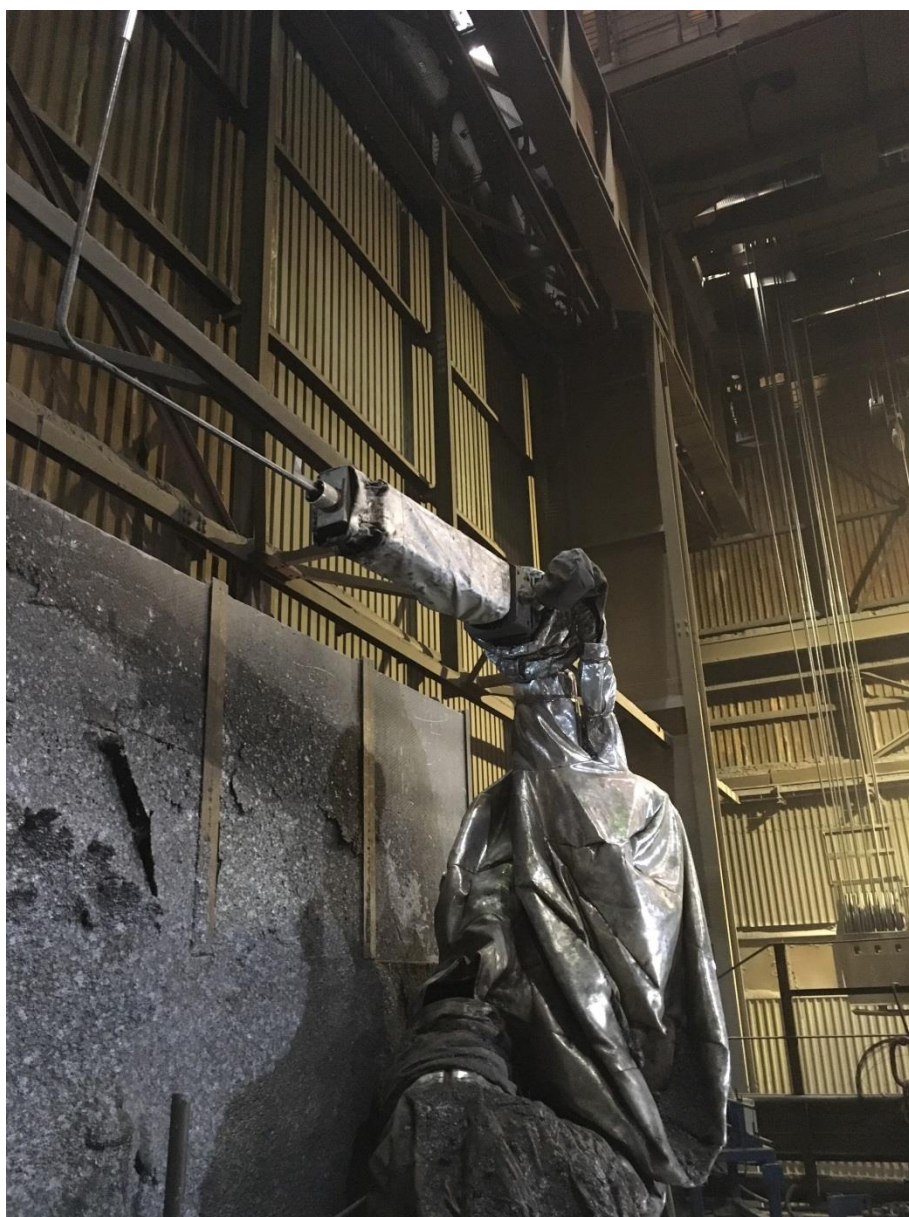
- 作業の安全性を向上する鋳造用ロボットシステム「リキロボ (LiquiRob)」を納入
- 本「リキロボ (LiquiRob)」はレードル炉のランシング作業を自動で実施

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited) がドイツのドイツ・エデルシュタールヴェルケ社 (Deutsche Edelstahlwerke GmbH : DEW、ドイツ・エデル製鉄所の意) のジーゲン製鉄所に納入した鋳造用ロボットシステム「リキロボ (LiquiRob)」が稼働を開始しました。本システムは、ビレット連続鋳造機の上にある鋳込み用プラットフォーム上に 2016 年秋に設置され、鋳造機に流し込む溶鋼を精錬するレードル炉のランシング (酸素などのガス吹込みによる溶鋼の精錬及び測定) を自動で行っています。

ドイツ・エデルシュタールヴェルケ社はシュモルツ+ビッケンバッハ (Schmolz + Bickenbach) グループの中核となる製鉄会社として、ステンレス鋼の長尺製品で世界をリードしており、ドイツのヴィッテン、ジーゲン、クレーフェルト、ハーゲン、ハッティンゲンの各製鉄所で約 4,000 名の従業員を擁して、年間約 100 万トンのステンレス鋼を生産・加工しています。ドイツ中西部のノルトライン・ヴェストファーレン州ジーゲン市にあるジーゲン製鉄所では、電極式電気炉で溶鋼を生産し、6 ストランド (条) 方式連続鋳造機で、断面 138 mm 角から 265 mm 角の方形ビレットに鋳造加工しています。

ランシング作業はこれまでオペレータにより手動で行われており、溶鋼が時に制御困難な状態になる場合があることから危険を伴っていましたが、このロボットシステムの使用により、オペレータが危険な場所で作業する必要がなくなり安全性が大きく改善しました。さらに、大型で効率的なランス (パイプ状の装置) を使用することも可能となり、ランシングの初回成功率が大幅に向上しました。

プライメタルズ テクノロジーズは、作業の安全性向上とともに、鉄鋼生産の過酷な測定環境下での測定品質の確保のため、このリキロボシステムを開発しました。現在、世界各国の連続鋳造プラントで6台のロボットシステムが稼働しているほか、電極式電気炉および転炉でも各1台が稼働中です。



プライメタルズ テクノロジーズが、ドイツ・ジーゲンのドイツ・エデルシュタールヴェルケ社（DEW）に納入した鋳造用ロボット「リキロボ（LiquiRob）」。本ロボットは、ビレット連続鋳造機で、レードル炉の自動ランシングを行う（写真提供：DEW）。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。

www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 総務部
〒108-0014 東京都港区芝五丁目 34 番 6 号 新田町ビル 9 階
TEL(03) 5765-5231

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業にとって、エンジニアリングやプラント建設全般の、世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供します。鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野部門にも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工グループで、株式会社日立製作所、並びに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足しました。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。 公式ウェブサイト：
www.primetals.com